

L.N.

2018年5月号

ライブラリー・ニュース

3-4 3-4

発行 図書委員会 担当 岡田・元庄矢・司書

図書委員のおすすめ

『浜村渚の計算ノート』青柳碧人著（講談社文庫）

「数学」が消えた日本政府に反発し、天才数学者・高木源一郎はテロ組織を作り、行動を起こした。それに対抗するため警視庁が探し出したのは、数学大好き女子中学生 浜村渚だった。数学天才少女が様々な事件を解決する数字・ミステリー数学好きもそうでない人も楽しめる一冊です！



『旅猫レポート』有川浩著（講談社文庫）

野良猫のナナは、交通事故に遭い、瀕死の状態を助けてくれたサトルと暮らし始めた。その出来事から五年たち、ある事情からサトルはナナと共に“最後の旅”に出る。旅を重ねていくごとに明かされるサトルの秘密。その秘密とは。猫と人間の絆が描かれた必ず泣ける物語です。



『神様の御用人』浅葉なつ著（メディアワークス文庫）

ある日突然、狐神から「神様の御用人」を命じられたフリーターの良彦。古事記や民話やりに登場する神々に振り回されつつも御用人の仕事をごなしていく。何の特別な能力もない道具もないごく普通の「人間」が神様の願いを叶えるべく走り続けるストーリー。



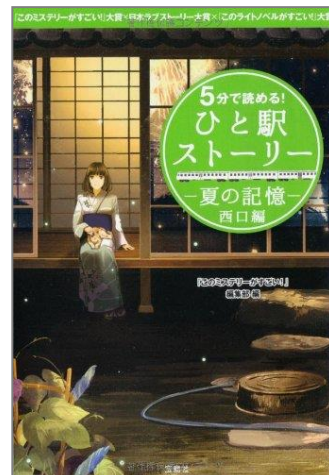
図書委員の広報係が、L. N. ライブラリーニュースを発行します。

おすすめの本など書いていきますので、ぜひ読んで下さいね！

朝の読書に

『5分で読める！ひと駅ストーリー』（宝島社文庫）

とても短い短編集です。10ページ程度のものばかりで、読書が苦手な方でも読みやすいと思います。各巻共通のテーマがあるので、自分がおもしろそうだなと思ったものを読んで見るのもありだと思います。共通のテーマでも様々な話が詰まっているので、自分がおもしろいと思う話が見つかるかもしれません。



『この部屋で君と』朝井リョウ他著（新潮文庫 nex）

「ひとつ屋根の下」がテーマのアンソロジーです。短篇が集まっているので、一巻まるまるの話は読めないという人にも読みやすいものだと思います。テーマは同じですが、シチュエーションが様々なので、いろんな話を読みたい人にはオススメです。



『カタストロフ・マニア』島田雅彦著（新潮社）

治験バイトのため入っていた病院で長い眠りから覚めた主人公シマダミロクに待ちうけたものとは！「太陽のしゃっくり」を引き金に人類は滅亡へとまっしぐらだった。目覚めたら自分がしらない間に世界が滅亡しかけたら、と思いながらドキドキしながら読んでいました。SFが好きな人に特にオススメです。



朝の読書

6/12 (火) ~ 6/15 (金) のCT時、1・2年生
は「朝の読書」をします。

漫画・雑誌・新聞・教科書・写真集以外の単行本や文庫本を持って
来て下さい。 図書室で本を借りようと思っている人は、事前に本を
探しに図書室へ来て、借りて下さいね。

読書を楽しみましょう♪

新着図書

